

一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 小中学生の通学用ヘルメットの補助等について		
	<p>現在、寄居町では通学時はもとより通常の外出時や自転車を利用する場合にヘルメットの着用を推奨しています。安全を守る意味合いから大切な事と思います。</p> <p>令和5年第4回定例会での一般質問で小中学校の通学用ヘルメットについて質問させていただきました。令和6年度予算では、小学校入学時だけでなく中学校入学時にもヘルメットを贈呈する予算が上程され、子ども・保護者には良い知らせと思います。</p> <p>ですが、何らかの理由で紛失または使用ができなくなる事もあるかと思えます。そのような場合にはどのようにしたらよいのかを町に伺ったところ、既存のヘルメットと同じものの購入をお願いしているとの事でした。</p> <p>メーカーではヘルメットの耐用年数は3年としていますので、3年で買い替えを考える方もいるかと思えます。子ども達の安全に投資をすることは町の将来に重要な事です。そこで伺います。</p> <p>(1) 今後、小学4年生の進級時もヘルメットを贈呈するお考えがあるか伺います。</p> <p>(2) 買い替えなどのヘルメットの購入に補助等をするお考えがあるのか伺います。</p>		
	2. 今後の住民増加のための姉妹都市提携について		
<p>現在、寄居町に限らず多くの自治体で少子高齢化が進み、人口減少が問題となっております。どの自治体もさまざまな施策を行っておりますが、なかなか結果が出ていないようです。</p> <p>外国籍の方による労働力や税収増加は自治体にとって大変重要と考えます。</p> <p>現在、寄居町には、800人位の外国籍の方が暮らしております。特に近年ベトナムの方が一番多く全体の約35%を占めております。</p> <p>今後より多くの外国籍の方に寄居町に居住していただけるような施策が必要と思えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 外国籍の方に寄居町に居住してもらうためにどのような施策や事業を行っているのか伺います。</p> <p>(2) 外国籍の方が転入届をする場合に専任の担当者があるのか伺います。</p> <p>(3) 今までに外国籍の方が転入届をする場合に問題やトラブルなどが無かったのか伺います。</p> <p>(4) 外国籍の方のために他の市町村との協力体制があるか伺います。</p> <p>(5) 他の自治体の外国籍の方の人数等を把握しているのか伺います。</p> <p>(6) 今後新しい施策や事業をするお考えがあるか伺います。</p> <p>(7) 施策の選択肢として、国際交流事業を現在居住者が一番多いベトナムの都市</p>			

との姉妹都市提携が可能なのか伺います。

3. 第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本施策について

第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本施策で公共施設の機能性・利便性の向上で「町の財政や人口の将来見通しなど、総合的・長期的な視点をふまえて、公共施設・都市基盤施設の適正配置に向けた更新・総合・廃止などが計画的に進められています。」と明記されています。

以前に中央公民館について一般質問させていただきましたが、この施設は昭和56年の開館ですので約43年経過しております。その時のお答えでは、大規模改修や移転等の調査・研究をするお考えをいただきました。

今回の令和6年度予算に中央公民館・町民ホール空調設備更新工事実施設計業務委託料として7489千円が計上されております。以前の答弁では空調の改修には9500万円位の費用と伺っております。

中央公民館だけでなく、町では多数の公共施設を有しております。

また今後、予約システムの活用により多くの施設で利用者の増加が見込まれると思いますが、老朽化の心配も懸念されます。そこで伺います。

- (1) 現在、寄居町の公共施設で耐用年数が過ぎたり、年数が近い施設や耐震に問題がある施設があるのか伺います。
- (2) 寄居町公共施設等総合管理計画では建築後約30年で大規模改修、約60年で更新となっておりますが、大規模改修とはどの程度の改修なのか伺います。
- (3) また施設の統合・廃止等も検討課題とされていますが、その場合の住民説明などを含めて、タイムスケジュールの基本計画などがあるのか伺います。
- (4) 今回の中央公民館の空調設備に関する予算は長寿命化のための事と思いますが、このような改修により今後どれくらい使用年数が延びるとお考えか伺います。
- (5) 総合管理計画では、公共施設の保有数は106施設、延床面積の合計は119,267㎡となっていました。40年間で延床面積を基準として33%削減するとありますが、現在の進捗状況について伺います。
- (6) 令和5年3月に改訂となった総合管理計画の課題に関する認識と解決の方向性について伺います。
- (7) 総合管理計画の学校施設以外の各公共施設の個別計画の進捗状況について伺います。

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 寄居駅南口の活性化について		
	<p>中心市街地の活性化の取り組みについては、基本計画を掲げ、「歩きたくなる・歩いてお得なまち」を目指した取り組みとして、寄居駅南口駅前道路整備も整いましたが、事業もいまだ道半ばと感じます。そこで今後の中心市街地賑わい創出事業等を伺います。</p> <p>(1) 当初計画されていた集客と回遊性の向上ですが、できているか伺います。</p> <p>(2) 立ち寄り先・場所のおもてなし体制は充分なのか伺います。</p> <p>(3) 当初計画されていた住まい手・担い手づくりと変化があったのか伺います。</p> <p>(4) 今後、観光客の取り込みをどのように進めるのか伺います。</p> <p>(5) 寄居駅南口駅前拠点「Y o t t e c o」、「Y O R I B A」を活用した具体的な賑わい創出の事業について伺います。</p>		
	2. 共生のまちづくりについて		
	<p>所信表明の中で、支え合う地域づくりを進めるには、あたたかなふれあいの中で「自助」「互助」「共助」「公助」のつながりを強め、共に見守り、支え合いながらその地域で暮らせるよう、人と人の絆や活動基盤を育て、地域共生社会を目指してまいりますと表明いただきました。</p> <p>現代ですと、ややもすれば隣近所での言葉の掛け合いもない時代になっています。安全で安心な住みよい環境を作ることが住民の生活の第一歩と考えます。住みよいまちづくりをするには共に支え合い、助け合いながら、あらゆる障壁のない共生のまちづくりが重要と考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 地域づくりに大事なことは何だと考えますか。</p> <p>(2) 地域共生社会とは、どのような社会なのか町の考えを伺います。</p> <p>(3) 高齢化による行動半径の狭さ等からくる情報不足解消にどのように対応するか伺います。</p> <p>(4) 障害のある人もない人も、お互いを理解できるようにするには町として何ができると考えているのか伺います。</p>		
	3. 町内の樹木における昆虫被害について		
<p>林野庁や県によると、樹木の伝染病・ナラ枯れの被害が県内で拡大しており、被害の量は今年度で約4000立方メートルと2年間で40倍にも増えたとの情報です。全国でも最悪な状況だそうです。枯れ木が倒れば人や住宅にも被害が及ぶことから、自治体や森林所有者は対策を急ぎ、県も対策会議を設置したようです。ナラ枯れは5ミリ程度の昆虫「カシノナガキクイムシ」が媒介する「ナラ菌」による病気で、ナラ類、シイ・カシ類の樹木にかかるとのことでした。</p> <p>また、桜や桃・梅・スモモなどのバラ科樹木に寄生し、幼虫が木の内部を食べて枯らしてしまう外来のカミキリ虫の「クビアカツヤカミキリ」が、埼玉県内では2</p>			

023年1月現在で大きな被害をもたらしているようです。すでに寄居町においても小学校の桜の木が被害に遭い、伐採せざるを得ない状況です。対策はないのでしょうか、そこで伺います。

- (1) 当町で「カシノナガキクイムシ」と「クビアカツヤカミキリ」の被害の届けが出ているのか伺います。
- (2) 2種類の昆虫を駆除する方法はあるか伺います。
- (3) 樹の点検をどのように行えば、被害を発見できるのか伺います。
- (4) 発生の時期は四季のいつ頃なのか伺います。
- (5) 見つけた場合の届け（対処）はどうすればいいか伺います。

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 玉淀河原・鉢形城公園のあり方について		
	<p data-bbox="261 286 1465 479">寄居町は自然豊かな町で「名水百選」「水の郷百選」「水源の森百選」に認定される水環境や国史跡の「鉢形城跡」に代表される歴史資源に恵まれてお金では買えない資源を持ち、東京からのアクセスも良く関越自動車道寄居スマートインターやJR八高線、東武東上線、秩父鉄道の3線が結節する交通の要衝であります。</p> <p data-bbox="261 497 1465 582">町長の所信表明にもある基本目標5の悠久の歴史と爽やかな自然の中で豊かさを感じられるまちに向け、共に町づくりをしたいと考えております。</p> <p data-bbox="293 600 1433 636">寄居駅南口駅前整備も終わり、雀宮公園の整備も整いました。そこで伺います。</p> <p data-bbox="261 654 1465 739">(1) 今現状では、日曜日にも関わらず閑散としている玉淀河原について町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="261 757 1465 896">(2) 氏邦桜は毎年町民だけでなく関東各地から観光で来町していただき、春の観光のスポットで昼夜を問わず賑わいがあります。そこで鉢形城公園内でキッチンカーやフリーマーケット等のイベントができないか伺います。</p> <p data-bbox="261 913 1465 999">(3) 市街地と鉢形城跡を繋いでいる正喜橋の安全性及びデザインについて町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="261 1016 1465 1102">(4) 寄居駅と鉢形城跡を結ぶ中央通り線と県道30号線の植栽について町の考えを伺います。</p>		
	2. 人口減少の対策について		
	<p data-bbox="261 1209 1465 1402">日本全国で人口減少や少子高齢化社会が急速に進んでいるのが現状で、寄居町におきましても平成12年をピークに減少して、ここ数年のうちに3万人を下回る予測もあります。埼玉県でも、県南の大都市以外ほとんどの市町村が同じ人口減少に悩んでいると思います。</p> <p data-bbox="261 1420 1465 1608">この問題に関して、町村のレベルで比較するのではなく近隣の深谷市や熊谷市、本庄市、東松山市などを目標として、市レベルの対応以上の事をしなければ寄居町への移住定住に繋がらないと考えます。「結婚したら寄居町へ」と全面的にPRしましょう。そこで伺います。</p> <p data-bbox="277 1626 1465 1765">(1) 寄居町には本田技研工業株式会社埼玉製作所寄居工場があります。本田技研工業と組んで、政策を計画し人口増加に繋がる働きをした方が良くと思いますが町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="277 1783 1465 2069">(2) 幼稚園・保育園・認定こども園を利用する「3歳から5歳まで」、「0歳から2歳までの住民税非課税世帯」の子どもを対象に、保育料が無償化されています。隣の深谷市では県内初となる独自の取り組みとして「深谷市在住の0歳から2歳の保育は必要な住民税課税世帯」の子どもの保育料も無償化しており、子どもの年齢、兄弟・姉妹の有無、保護者の所得に関わらずに保育料が無償となっていて若い子育て世帯の中では注目されています。今後の寄居町の考えを伺います。</p>		

(3) 無償化対策により保護者の負担を軽減して子どもたちの健やかな成長をサポートしていかなければいけない時代で各市町村が対策を考えている中、令和6年度は働き方改革で共働きの家庭も増えています。寄居町の学童保育の定員と空き状況の現状を伺います。

3. ライフ跡地及び旧商工会について

昨年の改選後の新議会での「議員間討議」で話が出た「道路整備の促進」及び「ライフの跡地の活用」問題がありますが、令和6年度予算では道路問題に関しては、予算をつけて頂いたと思います。しかしながら寄居駅南口駅前拠点施設「Y o t t e c o」の来場者が伸びている中、住民の皆様にはライフの問題はどうなったかと問われます。

また昨年暮れに寄居町商工会が旧武蔵野銀行に移転して、新たに寄居町商工会新拠点「S P A R K」としてオープン致しました。こちらにも来場者が以前よりも増えて、順調な出だしで新たな商工業の相談窓口とした役割を担っています。

そこで伺います。

(1) 秩父鉄道株式会社と交渉等を行っているのはお聞きしていますが進捗状況について伺います。

(2) 旧寄居町商工会の今後の使い方等について何か考えがあるのか伺います。

議席番号	8	議員氏名	権 田 孝 史
項目・要旨	1. 賑わい創出策として集客型観光施設のフォローについて		
	<p>令和3年6月定例会で、寄居町のさらなる観光振興に対する姿勢や考えについて、一般質問させていただきました。</p> <p>(1) 都心からの車の道路網や鉄道網に非常に恵まれており、寄居町の位置として利便性高く、来県する観光客の通過点だけでなく寄居町で観光客をキャッチして経済効果をもたらす、すなわち「外貨を稼ぐ」施策が必要と考え、アクセス道路にも非常に恵まれている男衾周辺で「オール寄居」で道の駅やテーマパークの検討が出来ないかと伺いました。その時の回答が、「一般県道赤浜小川線の開通が予定されており、注目が集まっておりますことから、進出を希望する企業等があれば支援策等を検討してまいります」と回答いただきました。そこで伺います。</p> <p>①私始め、多くの同僚議員が今後の町政策としていろいろな質問をし、寄居町が外貨を稼ぐのには、企業誘致なのか新たな農産物か観光なのかの質問が出ておりました。どの様な方針で進められているのか伺います。</p> <p>②どの様な業種の企業から、何社ほど相談があったか伺います。</p> <p>③新たに進出検討する企業は、アクセス道路や工業用水などが整備されているかいないかが大きな決め手だと思います。すなわち町の先行投資が必要と考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(2) 遊休農地・里山の多い寄居町で、有機栽培に力を入れ「安心・安全な野菜」として「家族で楽しめる家庭菜園広場」を男衾周辺開発に整備してはどうかと伺いました。その時の回答が、「有機栽培により生産される野菜は、まだ生産農家も少ないことから競合が少なく、『安心・安全な野菜』として販売価格も高いと伺っております。町といたしましても、少量多品目栽培という有機栽培のメリットを生かしつつ、有機栽培生産農家とともにあらたな寄居ブランドについて研究してまいります。」と回答いただきました。そこで伺います。</p> <p>①よりいブランド研究会の進捗状況を伺います。</p> <p>②寄居町で何件の農家が、有機栽培を行っているのか伺います。</p>		
	2. 地域公民館の諸問題について		
<p>近年いろいろな事件や、問題等がテレビ報道がされている中、地域住民のコミュニティの交流の場とし各地域公民館が大きな役割を担っていると思います。私も、平成5～6年に公民館運営委員、12～15年に公民館主事、27～31年は公民館長と、10年間公民館活動に携わってきました。</p> <p>しかし、令和4年度の成果説明書では講座数が少ない公民館では1教室、多いところでは22教室、また、催事数では1事業、多い公民館では11事業が報告がされました。いろいろな地域性があると思いますが、地域公民館の温度差が大きい事に疑問をもちました。そこで男衾公民館を例として伺います。</p>			

(1) 昨年12月で男衾連絡所が廃止となり、男衾コミュニティセンター施設全体はどこの課が担当しているのか伺います。

(2) 公民館長や主事・運営委員はどのような立場と考えているのか伺います。

(3) 教室や催事事業が、多い少ないにもかかわらず7公民館の委託料は同額なのか伺います。また、一律同額であれば不公平ではないかと思いますが町の考えを伺います。

(4) 今年度の男衾コミュニティセンターの修繕費の予算額と、今日までの執行金額を伺います。

(5) 施設内外の除草作業は、状況を見ながら年に2回と報告を頂きました。そこで伺います。

①施設内外の除草作業は、令和5年度は何月に実施したか伺います。

②植栽されている木々の剪定作業はどのような考えで行っているのか伺います。

議席番号	16	議員氏名	吉田正美
項目・要旨	1. 都市計画法による市街化区域、市街化調整区域いわゆる「線引き制度」の導入について		
	<p>寄居町は昭和43年新都市計画法施行以来現在まで市街地、男衾駅周辺、三ヶ山の彩の国資源循環工場、本田技研工業株式会社埼玉製作所寄居工場等に用途地域を指定し、これ以外は無指定地域の非線引き区域であります。言わばどっちつかずの非線引き区域であります。近隣では昭和45年に首都圏50km以内の市町村、また、一定規模の人口を抱える都市は首都圏整備法のもとに国によって、熊谷市、深谷市、旧川本町、旧岡部町、嵐山町、滑川町が強制的に線引き制度を導入させられました。、60km圏の小川町は昭和54年に、自主的に導入しました。</p> <p>さて、これまで無指定地域では無秩序な市街地が形成されたり、虫食いの乱開発が行われてきました。男衾地区や鉢形地区は平地林が多く広がっており、昭和50年～60年代、民間デベロッパーがここに目を付けて住宅開発が盛んに行われました。町の総合振興計画や都市計画マスタープランでは用途地域以外の土地利用として、農業地域や森林地域が位置づけられておりますが、本来の土地利用目的ではなく乖離している状況です。ただ唯一、農業振興地域の農地は法律で面規制がかかっているため開発はできません。こうした現状を放置しておくことは将来の町づくりを考えた時、禍根を残します。</p> <p>今、ここで速やかに「線引き制度」を導入してメリハリの効いた土地利用を計ってゆくべきと考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 現状をどう受け止め、認識しているか伺います。</p> <p>(2) これまで行政を進めていく中で苦情などありましたか。例えば、道路や下水、防犯、コミュニティ等について苦情があったか伺います。</p> <p>(3) 寄居町は空き家率が県内トップクラスと聞きました。指摘した点とリンクしていないか伺います。</p> <p>(4) 本来保全すべき地域が無秩序に開発が行われて総合振興計画や立地適正化計画に照らして整合性はつけられるのか伺います。</p> <p>(5) この線引き問題は大きな問題であると認識しております。寄居町の50年100年先、長期的スパンで考えた時に避けて通れない問題だと思います。ここで思い切って線引き制度を導入するべきであると考えます。町の考え方を伺います。</p>		
	2. 町道（生活道路）整備の推進について		
<p>昨年、議会から町長に提言いたしました令和6年度予算に向けて、1項目めである町道（生活道路）整備の推進について今後予算に具体的にどのように反映されたのか伺います。</p> <p>(1) 道路改良事業等路線数について伺います。</p>			

(2) 道路改良費、修繕費、原材料費の予算額、また合算額を伺います。

(3) 議会の要望に十分応えたものになっているのか伺います。

議席番号	1	議員氏名	里見夕子
項目・要旨	1. 食品ロス削減への住民運動のさらなる推進について		
	<p data-bbox="264 286 1458 528">日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は約612万トンとされています。実際に食品ロスを出す割合を見ると、食品関連事業者が全体の55%で残りの45%は家庭からのものであり、大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、地域における食品ロスを減らす取り組みは大変に重要であると思います。</p> <p data-bbox="264 546 1458 788">この食品ロス削減は、気候変動対策としても大変に重要であり廃棄における直接的に生じる環境影響だけでなく、その生産過程で投入される天然資源やエネルギーの浪費・製造・加工・流通・卸・小売りの各段階でのエネルギー消費など、環境に及ぼす影響は決して少なくありません。食品ロス削減への住民運動のさらなる推進は非常に重要であると考えます。</p> <p data-bbox="264 806 1458 1572">寄居町でもフードドライブなどフードロス削減の取り組みを行っておりますが、東京都江戸川区では、インターネット上で区内の飲食店や小売店が賞味期限の近い食品を出品し、区民らが手軽に購入できるサービス「タベくるん」を2022年12月から実施しており、弁当屋や和菓子屋など数十店舗が出品し、数万人の利用者を集め、好評を得ています。このサービスにおいて、事業者は区のホームページから登録後、専用サイトでロスになりそうな食品の販売価格などを入力して出品。一方、商品を購入したい消費者は同サイト上で予約し、店舗で直接代金を支払い商品を受け取る仕組みで、通常の価格よりも安価で購入。事業者の登録料は年間1000円で消費者は無料。区外在住の人も登録すれば利用できることになっています。区の担当者は、消費者のメリットについて「食品ロスの削減を考えるきっかけになるだけでなく、普段行かないお店へ行く機会にもなる。」と語っています。実際に地域のパン屋では、出品するとすぐに予約が入り売り切れるほどの人気ぶりとのことで、店長からも「これまでは捨てるしかなく、もったいなかった。お店に賞味期限が近いパンを出しても発信する方法がなかったので、とても助かっている。」と好評を得ています。そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1590 1458 1729">(1) 寄居町においても、飲食店や小売店で閉店間際に残ってしまった料理や惣菜等を消費者とマッチングさせるサービス等、いわゆるフードシェアリングの展開を支援することも有意義かと考えますが、町としての見解を伺います。</p> <p data-bbox="284 1747 1458 1935">(2) 企業・商店などから提供された食料品等を、地域に設置された冷蔵庫や冷凍庫で保管し、随時提供するコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の設置や運営等への支援制度を整備し、食の支援を必要とされる地域住民を支える社会環境を整えることは大変重要と考えますが町の見解を伺います。</p> <p data-bbox="284 1953 1458 2087">(3) 食に関わる事業者と野菜等の生産者の連携を促し、色や形における規格外品など出荷や加工前に廃棄されている地域の食材をできる限り有効に活用する商品開発や消費の拡大などへの支援を積極的に推進するべきと思いますが、町と</p>		

しての見解をお聞かせ下さい。

2. 高齢者・シニア世代への活躍の場の拡充と健康寿命を伸ばす取り組みについて

高齢者・シニア世代の方々が元気に地域で活躍されることは、ご本人の健康寿命につながり同時に地域共生社会構築にとって、大変重要であると思います。

愛知県豊明市では、高齢者の介護予防や健康増進を目的に「高齢者ボランティアポイント制度」（愛称 アクティブ・シニアクラブ）の活動を行っています。高齢者ボランティアポイント制度は65歳以上の高齢者が、市が指定する介護福祉施設などで行事の補助や利用者の話相手などを行うことでポイントがもらえるシステムで、ポイントがたまると商品券に交換できます。活動によって地域社会に貢献できる喜びとともに自身の介護予防や健康増進につながることから、登録者も年々増加しています。これまで最多のポイントを獲得している女性は「ボランティア活動に参加してから日常生活が充実し健康管理にもつながっている。」と語っています。

また、福祉施設担当者からも「アクティブ・シニアの人が来て下さるようになって施設が明るくなった。食事の片付けを手伝ってくださり介護職員が本来の介護業務に専念できるようになりました。」との感謝の言葉もあがっており、高齢者ボランティア・介護施設・施設利用者全てにプラスとなる活動であると思います。

昨年行われた議会報告会で「高齢者・シニア世代に活躍の場を」との声を頂きました。現在、寄居町の健康寿命は男性が54位、女性は63位最下位となっておりこの問題に町民の方々の関心が集まっています。関心が集まっている今、時を逃さず町が積極的にこの取り組みを、後押しし町民と共に健康寿命日本一を目指すべきと考えますが町の見解を伺います。

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 山林資源の利活用について		
	<p>自然が豊富な寄居町、その中でも森林の利活用が少ないように思えます。もちろん自然環境保護やCO2削減等、大切な資源と理解する中で、その自然を利用して観光・回遊する場所として、また現在は低山人気もあり、登山人気を町に生かすことで、地域（森林）の活性化に結び付ける考えはあるのか伺います。</p> <p>(1) 現在のハイキング目的での来町者の数字（人数）を把握しているのか伺います。</p> <p>(2) 鐘撞堂山から円良田湖（寄居駅から波久礼駅）等のハイキングコースの山道整備の現状を伺います。</p> <p>(3) ハイキング等から健康長寿に結び付く企画を創案したことがあるのか伺います。</p> <p>(4) 町として、山林の中を季節ごとに様々な鳥を観察できる観光資源としての利活用が出来るか伺います。</p> <p>(5) 将来山林を、埼玉県・寄居町と民間活力導入を図ることで、サイクリングロードや遊歩道を開発する考えはあるのか伺います。</p>		
	2. 児童虐待について		
<p>1月12日に親業講演会が行われました。講演会の中で令和4年度、児童相談所における児童相談所設置自治体別児童虐待相談対応件数は、東京都、大阪府に次ぎ埼玉県は3位でした。つきましては寄居町における児童虐待状況と防止に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 虐待には、身体的・性的・育児・心理的等があると言われていますが、町の状況を伺います。</p> <p>(2) 相談を受ける体制や関係組織としての対応内容について伺います。</p> <p>(3) 町として困難な問題ではありますが、虐待を発見する手段等はどうしているのか伺います。</p>			

議席番号	5	議員氏名	久保鷹矢
項目・要旨	1. 選ばれる寄居町を目指すために		
	<p>寄居町はSNS活用, 町公式HPリニューアル, 動画コンテスト等によって町外に向けたPRコンテンツ作りが充実してきていると感じております。しかしながら寄居町が目指している姿に「可能性∞ 笑顔満タン よりいまち」「誇りある美しい町、寄居」とありますがこのコンセプトとは別に、寄居町に住むメリット、来るメリット、町の強みなどを明確にし、町外の人にもわかりやすいよう中身の部分をしっかりPRする必要もあると考えております。そこで行政として近隣自治体や同規模自治体と比較したときの寄居町の特徴、独自性、強みについて分析結果と今後の方針について伺います。</p> <p>(1) 子育て・教育環境に関する特徴、独自性、強みについて伺います。</p> <p>(2) 暮らしやすさに関する特徴、独自性、強みについて伺います。</p> <p>(3) 観光・産業について特徴、独自性、強みについて伺います。</p> <p>(4) 寄居町の特徴、独自性、強みについて広く伝える必要があると思いますが宣伝方針を伺います。</p> <p>(5) 移住者へヒアリングなどを行い、寄居町外からの視点を調査しているのか、もしくは実施可能性を伺います。</p> <p>(6) 寄居町町民アンケートの自由記述欄等に、町の魅力についての記載があったのか伺います。</p>		
	2. 寄居町の関係人口を増やす取り組みについて		
	<p>近年寄居町では新規事業を起こすことを目的とし移住されてくる方々が増えており、変化の兆しを感じております。そして昨年は「月1からはじめる“二拠点×小商い”チャレンジプロジェクト」というイベントも開催されました。数十名の参加者が全4回にわたるフィールドワークで寄居町の商工、自然、ヒトに触れていただき、魅力を体感いただきました。そして当イベントを経て、「月イチ町民」というコミュニティが誕生し現在新たなプロジェクトや新たな人間関係が形成され良い循環が生まれていると評価しております。そこで伺います。</p> <p>(1) 当イベントについて町がどういった評価をしているのか伺います。</p> <p>(2) 当イベントが令和6年度も開催される場合、町としてどう関与するか方針を伺います。</p> <p>(3) 「月イチ町民」というコミュニティが生まれたが町が今後当コミュニティにどう関与し活用していくか伺います。</p> <p>(4) 町として、地域の魅力を体験できるような施策・計画について方針を伺います。 (当イベントの共同運営、寄居ツアー、お試し移住など)</p> <p>(5) 二拠点生活など多種多様なライフスタイルを寄居町で体験できる施策・計画について方針を伺います。</p>		

議席番号	2	議員氏名	浅見 玲子
項目・要旨	1. 新規の学力向上対策について		
	<p>町長が所信表明で学力向上のために述べていらっしゃいます。ICT 支援員の巡回配置、学習サポーター等の適切な配置を通じた教職員への支援体制の強化、また「より・E 土曜塾」などきめ細やかな配慮は良い事だと思います。</p> <p>しかし、日本は、国連の子どもの権利委員会より「あらゆる段階の教育がしばしば過度に競争主義的でストレスに満ちたものとなっており、その結果、生徒の不登校、病気、さらには自殺すら生じていることとくに焦点が当てられるべきである。」という勧告を受けています。</p> <p>そこで、いくつかこの勧告に照らして疑問に思うことがあり、伺います。</p> <p>(1) 国連の日本に対しての勧告を、どう思いますか。</p> <p>(2) これまでの小学校6年生、中学校3年生が行う全国学力・学習状況調査と同じ日に、小学校1年生を除いてすべての学年で学力テストを実施することは、更に「過度に競争主義的でストレスに満ちたもの」にならないのか伺います。</p> <p>(3) 小学校2年生以上に算数検定の年1回の無償化、全中学生の英検年1回無償化についても子どもたちに過度の競争主義的ストレスを与えるものにならないのか伺います。</p> <p>(4) 不登校児を増やす原因のひとつになる恐れはないのか伺います。</p> <p>(5) この政策からは、子どもの多様性、芸術や感性を育てる視点、子どもが自ら興味関心を持てるものを見つける大人の見守る姿勢が感じられません。町長あるいは教育長の考える学力とは何なのか伺います。</p>		
	2. 子育て支援について		
	<p>所信表明で、町長は「新たに保育所入所児童の発達段階に応じた体操指導・英語学習を提供する笑顔満タンすくすく教室を実施する」と述べています。そこで伺います。</p> <p>(1) 町長は、「非認知能力」をどのようにとらえておいでなのか伺います。</p> <p>(2) 保育園での体操指導や英語学習をどのようにイメージしておられるのか伺います。</p> <p>(3) なぜ体操指導・英語学習という発想になったのか伺います。</p> <p>(4) 現場の保育士たちの意見は聞いたのか伺います。</p>		
3. 健康長寿について			
<p>高齢者の補聴器購入助成制度について伺います。</p> <p>全国ではこの1年で、独自の助成を行う自治体が、2倍近くに増えました。県内でも、すでに行われている秩父市、小鹿野町、滑川町、草加市、鴻巣市、吉見町、皆野町、越谷市に加えて新年度から川越市や蕨市などでも行われるようです。町では、昨年来調査研究をするとのことでした。そこで伺います。</p>			

- (1) 寄居町にあった形での導入という点で、具体的には何が問題なのか伺います。
- (2) 調査研究のための担当者を置いたのか伺います。

4. 地域通貨ヨリカについて

地域通貨ヨリカについて伺います。

- (1) これまでヨリカについては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等で、国からの助成があったかと思うのですが、来年度も何らかの助成が期待できるのか伺います。
- (2) 昨年の3月議会の先輩議員の一般質問の回答では、令和5年当初は3200人の利用者であったとありますが、アプリを入れている人数ではなく、実際に利用している人数は現在何人なのか伺います。
- (3) 地域経済活性化の効果としてはどのように表れているのか伺います。

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. 災害対応について		
	<p data-bbox="264 277 1458 524">年明けの元旦に、能登半島を震源とする地震と津波が発生しました。亡くなられた方のご冥福と、被害にあわれた方にお見舞いを申し上げます。家屋の火災、損傷、ライフライン、電気・水道・道路には甚大な被害がでました、避難所に避難された方は、支援物資が届かず寒さと不便な生活が長く続きましたが発生から2ヶ月が過ぎ、徐々に復旧が見えています。</p> <p data-bbox="264 539 1458 680">ことわざで「天災は忘れた頃にやってくる」とありますが、近年は忘れないうちにやって来ます。地震・台風・大雨の自然災害に対し日ごろの備えが必要と考え伺います。</p> <p data-bbox="284 696 1458 837">(1) 能登半島地震では、水道が損傷しトイレが使えない事態が発生し、住民は不便な生活を過ごしました。災害発生時の避難所に水を使わない仮設トイレ設置はあるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 853 1458 943">(2) 観光用トイレに水を使わないトイレキットを設置し災害時対応出来ないか伺います。</p> <p data-bbox="284 958 1458 1048">(3) 災害時協力井戸が250カ所ありますが、停電時にはどのような対応を考えているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1064 1458 1153">(4) 各世帯で災害時に備えて備蓄品・非常持出品を事前対策としてハザードマップに記載しています。各世帯での取り組み状況を把握しているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1169 1458 1352">(5) ハザードマップに事前対策として、家の安全対策、家屋・風水害・地震への備え、避難先の検討、備蓄品・非常持出品、ローリングストック法があります。簡単に確認できるよう1枚で両面印刷にまとめる必要があると考え伺いますが、町の考えを伺います。</p>		
	2. 地域内経済について		
	<p data-bbox="276 1458 1458 1756">寄居駅南口の中心市街地活性化事業は、令和5年度に寄居駅南口駅前拠点「Y o t t e c o」、「Y O R I B A」がオープンし賑わいを創出する施設として期待されています。買い物・食事の出来る場所が不足していると思われます。賑わい創出の取り組み事業に補助金制度があり、イベント開催を促す有効な事業補助と考えます。賑わいを創出するには継続した事業が必要です。寄居産の農産物・商品を販売するマルシェ又はフリーマーケットを開催し賑わいを創出できると考え伺います。</p> <p data-bbox="276 1771 1458 1912">(1) Y o t t e c o、Y O R I B Aを中心に「よりの市」を月1回開催し、地元農産物等を販売すれば、賑わいの創出と農業の活性化ができると考えますが、町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="276 1928 1458 2018">(2) 同様に、町民に呼びかけ「フリーマーケット」を開催すれば、賑わいができると考えますが、町の考えを伺います。</p>		

3. 教育環境について

令和5年度、男衾地区教育懇談会が開催され、男衾小中学校の各PTA会長より、寄居町長へ要望書が提出されました。

男衾小学校の要望のひとつ男衾地区をモデルにした、不登校等の学校共同活動拠点の設置については、地域や学校現場では問題が多様化・複雑化し、先生たちだけの課題克服は困難な状況であることから、学校側と地域側との協働活動を行うことによってお互いにサポートし合う活動拠点が必要ではないかと考えております。令和4年度の調査で埼玉県公立小学校の1000人当たりの不登校率は12.3%なっていますが、実際の男衾小学校の不登校率は増加傾向になっています。これにより先生方は、不登校の子どものフォローや担当しているクラスの学力向上を目指すのでは時間が足りなくなり、指導がおろそかになってしまうことが予想されます。町内では、かわせみ教室や教育サポートセンターもある状況ですが、実際利用できる子どもとそうでない子どもがいるのが事実です。そのため、男衾地区に協働の活動拠点があれば、学校に通えなくても、学校とは違った環境であれば、住み慣れたなじみの地区で過ごす安心感と子どもたちの不安の軽減や無気力の向上になればと思っています。寄居町の人口を考えていくうえで、少なくとも子どもたちは宝になります。学校共同活動拠点を設置することで、今後の課題に学校と地域が一丸となって取り組めるのではないかと考えています。とあります。

この子どもの健やかな成長と教職員の負担を軽減させて、一人も取り残さない子どもの成長を地域と協働で行うとの切実な要望について、町の考えを伺います。

議席番号	1 2	議員氏名	鈴木 詠 子
項目・要旨	1. 医療費抑制のための肺炎対策について		
	<p>令和6年度新年度予算では峯岸町政の4本柱の一つとして「健康長寿事業の積極的展開」の新規・拡大事業が上げられ健康長寿県内最下位脱出のための戦略の展開が期待されるようですが、一方で今後も高齢化による医療費の上昇は加速することが予想され、併せて社会保障費の増大が懸念されています。そこで、財政負担を軽減しながらも健康長寿の喜びを実感できるよう町の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 高齢者の場合、慢性の心臓疾患や呼吸器疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病などの基礎疾患を持っている方が多いため、免疫力の低下から肺炎などの感染症に罹りやすく、罹ると重症化しやすいのが現状です。入院治療も必要になり、退院できても介護が必要になり、介護度もあがることも多くなるため、医療費はもちろん、家族や介護施設、人手不足の介護人材にも負担が増えると思われます。社会保障費が増加の一途をたどる中、高齢者の肺炎による医療費や介護への影響も大きな問題だと思われます。高齢者の肺炎による医療費と介護への影響を町としてどのように捉えているか伺います。</p> <p>(2) 高齢者への肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の各ワクチンの接種状況について伺います。</p> <p>(3) 本年3月31日をもって肺炎球菌ワクチンの定期接種の経過措置が終了しますが、今後の継続の意向について伺います。</p> <p>(4) R S ウイルス感染症は呼吸器合胞体ウイルス感染症の略でかぜ症状を伴う呼吸器感染症として知られています。2歳までにはほぼ100%の人がR S ウイルスに感染すると言われており、生涯を通じて繰り返し感染する可能性があります。加齢や基礎疾患などで免疫力が落ちた高齢者が感染すると重症化して肺炎になることが多いとされています。日本では毎年約70万人がR S ウイルスに感染し、そのうち約63000人が入院、約4500人が死亡していると推計されています。R S ウイルス感染症と感染予防への注意喚起の周知について伺います。</p> <p>(5) 高齢者のR S ウイルスワクチンの接種費用の助成について伺います。</p>		
	2. 能登半島地震の教訓を踏まえた防災対策について		
<p>2024年1月1日16時10分に発生した能登半島を震源とした地震から約2カ月が過ぎました。2月22日の時点で死者は241人、住宅被害は7万5661棟、能登地方を中心におよそ2万1880戸で断水が続き、避難されている人も未だ1万2000人を超え、被災地ではなお過酷な状況が続いております。高松市では、年末年始など故郷に帰省する人が多くいる時期の災害を想定して、飲み水・トイレの確保や備蓄物資を増やすなどの見直しをすとの報道がありました。当町では、町地域防災計画の改定を進めているところですが、今回の能登半島地震での教訓を踏まえ、さらに町民の命を守る感度の高い施策となることを願い、町の考えを</p>			

伺います。

- (1) 死因で最も多かったのは、倒壊した建物の下敷きになったことなどによる「圧死」（全体の41％）でした。比較的古い木造建物に被害が集中しているようですが、倒壊した建物の多くは旧耐震基準のものが多く、「耐震改修」が大きなポイントと考えられます。当町でも現在、建物の耐震化への助成制度がありますが、さらなる安心安全のため「シェルター及び防災ベッドへの耐震化助成」の実施について伺います。
- (2) 背の高い家具等の転倒による被害を防止するため、現在、高齢者世帯を対象に「家具転倒防止器具」の支援を行っていますが、助成額を定め、対象を拡大すべきと考えますが、町の考えを伺います。
- (3) 「低体温症」や「凍死」が32人（14％）にのぼり、真冬に起きた災害で、多くの人が救助を待つなどする間、寒さによって体力を奪われ、亡くなったとみられる実態が浮き彫りになりました。埼玉県で呼びかけている災害時の燃料対策として「満タン&灯油プラス1缶運動」の周知について伺います。
- (4) 断水が長期化する中、トイレの問題は深刻化、被災地には全国の市町のトイレトレーラーが集結し、自治体間の助け合いの連携が見られています。当町での活用は勿論のこと、災害派遣にも活用できるトイレトレーラーの導入について伺います。
- (5) 被災後の心身の負担が原因で亡くなる「災害関連死」のうち、発災時に障害者手帳を持っていた人の割合が、2011年の東日本大震災で21％、2016年の熊本地震で28％だったことが自治体への共同通信の調査で分かっています。久喜市では「障がい者のための防災の手引き」を作成しています。当町での実施について伺います。
- (6) 専門家が調査した結果、能登半島地震で土砂災害の被害を受けた建物は、少なくとも34か所にのぼり、8割以上が土砂災害警戒区域内でした。土砂災害警戒区域は大雨によるリスクを想定したのですが、地震でも生かせることが分かっています。自分のいる場所が警戒区域かどうかの確認について伺います。
- (7) ペットがいるからと避難をためらったり、車内での避難にとどまるケースが多くあります。ペットと一緒に避難できる同行避難の周知について伺います。

3. 子どもの性犯罪防止について

年齢や性別を問わず、望まない性的な行為は性暴力であり、被害者の尊厳や人権を著しく侵害する重大な犯罪です。まして心身ともに発育段階の子どもに対して一定の影響力を持つ第三者が性行為を強要することは、刑法や児童福祉法に反する極めて悪質であり処罰の対象となります。そこで町の考えを伺います。

(1) #8103（ハートさん）の周知について

(2) 学校配布の学習用タブレット端末に「コドマモ」アプリを活用することについて

議席番号	15	議員氏名	原 口 孝
項目・要旨	1. 企業誘致の推進について		
	<p>寄居桜沢産業団地も県企業局の完了を受け立地企業の操業も始まりました。町内の循環経済をはじめ、子育てや教育・福祉等の施策の基は住民の安定した生活からだと考えます。そこで雇用課題、働く場所があることが重要です。今後の社会は人出不足が問題であり、大きな課題でもあります。しかし、働く場所があることは、今後の町の大きなメリットになり得ます。産業団地はもちろんのこと、サテライトオフィス等の誘致も町や産業の発展と共に豊かな町づくりに繋がります。町の立地を生かし町自体が積極的に取り組むべき施策と考えます。そこで数点伺います。</p> <p>(1) 企業誘致推進計画が策定されていますが、計画通りに推進されているか、伺います。</p> <p>(2) 農村地域への産業の導入の促進等に関する法律（農産法）に基づく計画を策定するにあたり、県との協議、同意は受けていると思いますが、問題点はあるのか、伺います。</p> <p>(3) チャンスを掴むためには、町が大きく関与すべきであると考えますが、重要な要は何か伺います。</p> <p>(4) 企業誘致は「豊かな町づくり」に大きな貢献をもたらします。雇用拡大は地元の若者や移住者等大きな影響を与えます、早急な推進には何が最優先課題か伺います。</p>		
	2. DX（デジタルトランスフォーメーション）について		
	<p>国のIT化やDX推進の取り組みは、2025年以降、進まなければ年間12兆円の経済損失の可能性が高いと試算して始まりました。業務の効率化や生産性（サービス）の向上、作業時間の短縮等。寄居町では令和3年に「寄居町デジタル化推進計画」を作成し推進してきました。</p> <p>しかし、DX推進には投資に多くの資金と人材が必要になります。だからこそ推進することを重要視し、町の未来予想図を示すべきと考えます。取り組みによる効果や町民へのメリット、費用対効果、人材確保と育成、人材不足を予想した取り組み等、新たな財政を踏まえた計画を町民にも示すべきであると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 「書かない窓口」スタート開始。だがDXとはなにか、私を含め町民の多くの皆さんもよくわからないと考えます。今後のどうなるかを示し町民に周知と理解・協力を求めるべきであると考えますが、その点について伺います。</p> <p>(2) 目的・リスク（財政合む）等を含む事業計画を周知すべきと考えますが、町の考えを伺います。</p>		

3. 健康長寿について

健康長寿については、埼玉県では下位グループに位置し、今まで様々な事業を推進してきました。そのおかげで県から表彰されたり、報奨金をいただいたり、一方では優秀な成績を収めています。

健康長寿は誰のためか、楽しく人生100年時代を送る自分自身のためと受け止められる活動が必要と思います。そこで伺います。

- (1) 生活習慣病の発症・重症化予防の取り組みが重要です。なぜ県下最下位グループなのか取り組みの反省点、問題点はどこにあるのか、伺います。
- (2) 寄居町健康長寿計画において推進協議会と検討委員会での作成時の重点取り組みにおいて、実行過程での反応はどうだったのか、伺います。
- (3) フレイル対策が重要であり、この取り組みを町民の皆さんに理解と協力、そして実行して頂くには町の行動・指導がポイントとなると考えますが、その取り組みを伺います。
- (4) 脳血管疾患予防はじめ健康指導の拡大、運動教室の推進が今までとどう違うのか、伺います。

議席番号	1 4	議員氏名	稲 山 良 文
項目・要旨	1. 正喜橋通り線の電柱、電線の地下埋設化について		
	<p>寄居駅南地区中心市街地活性化事業も完了し街並みが大きく変貌し、地方自治体表彰、地域活性化センター賞、Y o t t e c o がグッドデザイン賞を受賞するなど、この改良事業が多方面から高い評価を受けまして、喜ばしい事ですが、町の活性化、賑わいをどのように創出するか、課題も努力目標の達成については行政も議会も真剣に取り組み、町民、県、国の期待に応えていかなければならないと考えます。</p> <p>実際に中央通り線が埋設化され景観が大きく変わりました。そして現在この事業を取り入れる時機に来ていると感じられ県に要望すべきと考えます。</p> <p>この背景には若者が多く立ち寄るお店、雀宮公園、遊歩道、荒川、玉淀河原、鉢形城跡公園等のまちなか観光客を誘致する中心地でもあります。そのためにも街並の景観を良くし、町の顔として正喜橋から寄居駅まで壮観感を演出すべきと考え提案させていただき、お伺いしたいと考えます。</p>		
	<p>(1) この事業をどのように捉えていますか。</p> <p>(2) 将来計画があるのならお示してください。</p> <p>(3) 埋設化に関する予算規模が分かればお示してください。</p> <p>(4) 正喜橋の整備についてのお考えについてお伺いします。</p> <p>(5) 正喜橋から鉢形城歴史館までの遊歩道の整備について伺います。</p>		
	2. 商工会の事務所移転について		
	<p>商工会の事務所が建設され約50余年が経過され、改修、修繕が繰り返されて、現在に至っていますが、令和5年12月に武蔵野銀行跡地に移転され、多様な機能を有し、住民、会員の皆様の利便性が高まり、喜ばれているものと見受けられます。さらには中心市街地の賑わいにも一助となっており、今後の活性化も期待します。そこで伺います。</p> <p>(1) 旧商工会事務所の解体計画について。</p> <p>(2) 解体の額と負担者について。</p> <p>(3) 土地の所有権とその面積について。</p> <p>(4) 新事務所の改修費用額について。</p> <p>(5) 新事務所の賃貸料について。</p> <p>(6) 新事務所の機能について。</p> <p>(7) 町から商工会に対しての助成を高める必要があると考えますが、町の考えを伺います。</p>		
3. 城南中学校区の小中学校集約化、長寿命化検討事業について			
<p>峯岸町長は町議会議員時代、学力の向上、教育現場の意識改革、教育施設の環境</p>			

改善、学校安全安心対策等情熱を持って取り組んでいました。

行政の責任者、リーダーになった現在、本年度予算においても教育に関する様々な事業展開が示されています。

しかしこの問題については具体的な案を示しワークショップの検討結果を明示した更に踏み込んだ具体的なタイムスケジュールを提示する時機に来ていると考えます。提示したことにより、地元住民関係者の具体的な要望要求が明確化され、真摯に向き合い合意形成が得られ、この事業が一步前進されるものと考えます。寄居中学校の統廃合の教訓、経験を生かし、少子化、学童減少、複式学級の解消に向け、1日1年でも早く実現を目指していただきたい。そこで伺います。

- (1) この事業に対する町長の決意を伺います。
- (2) タイムスケジュールの提案は政治的判断をすべきと考えますが、いつ具体的なタイムスケジュールを示すのかお伺いします。
- (3) 学力、体育力の向上については、大勢の中で切磋琢磨する、この教育環境を創るのも教育行政の責務と考えますが、町の考えをお伺いします。
- (4) 住民、関係者との合意形成づくりについて、どのようなお考えなのか伺います。
- (5) 小中一貫教育の更なる充実、実践に向けた町の考えをお伺いします。
- (6) 実現に向けて予算、概要が試算検討されているかお伺いします。